



SAP Ariba 

機能の概要

サプライヤ銀行口座情報の構文を検証

David Leonard、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: サプライヤ銀行口座情報の構文を検証

導入の難易度
対象エリア

● ハイタッチ
● グローバル

今までの課題

SLP と ERP 間でサプライヤを複製する際、SLP の質問事項でサプライヤから提供された銀行データは事前検証されずに ERP に渡されます。現在は連携メッセージの受信後、ベンダレコードの作成前に ERP のジョブによって銀行データが検証されます。これにより、形式が一致せず、連携が失敗し関連するトラブルシューティングが遅延するというシナリオが発生します。

SAP Ariba で問題解決

この機能では銀行口座に関する質問の一部のフィールドが検証されます。これにより、サプライヤから提供された銀行情報が適切な形式であることが確認されてから、連携している ERP システムと同期されるようになります。この機能では、構文マスタデータを使用して、IBAN、銀行口座名義人名、口座番号、および銀行コード/ABA ナンバーの各フィールドに対する応答が自動的に検証されます。

主なメリット

- 連携エラーの重大な原因が減少し、オンボーディングプロセス全体が強化されます。
- データ入力についてリアルタイムのフィードバックが得られるため、サプライヤの操作性が向上します。

対象ソリューション

- SAP Ariba Supplier Lifecycle and Performance (SLP)
- SAP Ariba Supplier Information and Performance Management (SIPM) の新しいアーキテクチャ
- SAP Ariba Strategic Sourcing Suite

関連情報

この機能を有効にするには、貴社の指定のサポート担当 (DSC) に連絡してサービスリクエスト (SR) を提出してください。

前提条件と制限事項

前提条件と制限事項に関するドキュメントを参照してください

機能の概要

説明: サプライヤ銀行口座情報の構文を検証

この機能により、銀行口座に関する質問で収集した一部のフィールドの銀行情報を、連携された ERP システムの該当フィールドの構文要件に適合させるための以下のツールが追加されます。

- **事前に定義された銀行制御キー:** この機能により、事前に定義された一連の通常銀行制御キーが追加されます。銀行制御キーには、初期値を使用するか、国固有のカスタム値を定義することができます。サプライヤ管理質問事項の銀行コードに関する回答が、ERP システムで常に有効な値となるように、連携している ERP システムで使用される値をインポートすることができます。
- **IBAN、銀行口座名義人名、口座番号、銀行コードの構文を検証:** この機能により、IBAN、銀行口座名義人名、口座番号、銀行コード/ABA ナンバーに対する構文検証が通常設定で追加されます。IBAN、銀行口座名義人名、口座番号、銀行コードの回答に、連携している ERP システムで有効な構文が常に使用されるように、通常設定の検証を使用するか、または国固有の構文検証ルールを定義することができます。これらの構文定義に対して検証チェックを自動で行い、回答者が無効な回答を送信できないようにします。

機能の概要

銀行構文マスタデータをインポート

銀行構文カテゴリ	定義
1 銀行制御キー	銀行制御キーにより、サプライヤ銀行口座の種別 (普通預金や当座預金など) を指定します。 銀行口座質問のこれまでの [銀行口座種別] フィールドは、[銀行制御キー] フィールドに置き換えられていることに注意してください。このフィールドには、サイトの銀行制御キーマスタデータに基づいて入力されたプルダウンリストが含まれます。
2 IBAN コード	国際銀行 ID (IBAN) は、国境を越えて銀行口座を識別するためのシステムです。このシステムでは、国コード、チェックディジット、その他の銀行情報を含む固有の構文を使用します。
3 口座名義人名、口座番号、銀行コード/ABA ナンバー	これらのフィールドで、数値コードを使用して、構文検証中に使用するチェックルール (文字長の最小、最大、完全一致チェック) を指定します。

The screenshot shows the SAP Data Import/Export interface. On the left, a navigation menu lists various managers, with 'Data Import/Export' selected. The main area is titled 'Data Import/Export' and includes a 'Search Filters' section with a 'Task Name' input field. Below this, there are tabs for 'Import', 'Export', and 'Web Service Status'. The 'Import' tab is active, showing a list of tasks. Three tasks are highlighted with red boxes and numbered 1, 2, and 3:

- 1 Import Country-Specific Bank Control Key ⓘ
- 2 Import Country-Specific Bank IBAN fields ⓘ
- 3 Import Country-Specific Bank validation fields ⓘ

機能の概要

適用される銀行構文検証

[銀行口座] の回答の該当するフィールドの検証は、ユーザー/サプライヤがデータを入力するとすぐに開始されます。

例として、銀行コード/ABA ナンバー、口座番号、IBAN が挙げられます。

The screenshot shows the 'Supplier request form' in SAP Ariba. The form is divided into sections: '1. Provide Supplier Details', '2. Supplier User', and '3. Bank *'. The '3. Bank *' section contains the following fields and callouts:

- Bank Type:** Domestic
- Country *:** United States
- Bank Name:** Cit Bank
- Bank Branch:** Newyork
- Street:** Madison street
- City:** Newyork
- State/Province/Region:** Newyork
- Postal code:** 19001
- Account holder name:** Acme Inc.
- Bank key/ABA routing number *:** 64458793456
Callout: Your answer must have a maximum length of 9, including spaces, and cannot include characters other than numbers.
- Account number *:** 425693456782645098
Callout: Your answer must have a maximum length of 17, including spaces, and cannot include characters other than numbers.
- IBAN number *:** 4256723458942689654096
Callout: IBAN is invalid, expected Format is DE\d{20}
- SWIFT:**
- Bank control key:**

The form also includes a 'Submit' button and a 'Cancel' button at the bottom right.